

## 仕様書

### 次世代電池・水素部

#### 1. 件名

革新的水素製造技術等に関する海外研究動向調査

#### 2. 目的

2020年12月に策定された「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」において、育成すべき成長分野の一つとして水素産業を掲げ、その中で2050年には水素供給コストを20円/Nm<sup>3</sup>以下とする高い目標を設定している。この長期的な目標の達成に向け、水素の「製造」、「輸送・貯蔵」、「利用」に至るまで革新的技術の着実な開発が重要であるが、その実施にあっては、海外の研究動向を把握し、我が国における技術開発のベンチマークとして取り組むことが必要である。また、技術開発の限りあるリソースの有効活用のため、海外の企業等と連携して技術の高度化を図る可能性について検討を行う必要がある。

このような背景のもと、特に水素の大幅な低コスト化のカギとなるカーボン・フリーな水素製造技術に重点をおき、現在海外で取り組んでいる有望な革新的技術を特定するとともに、その現状、課題、可能性について明らかにすることにより、今後の我が国における革新的水素製造等技術開発の方向性の検討に資することを目的とする。

#### 3. 事業内容

上記の目的を達成するため、以下の内容の調査を実施する。なお、実施にあたっては、NEDOと緊密に連携する。

- ① 現在海外において取り組みが進められている具体的な革新的水素製造等技術について、その技術の詳細内容、特徴（技術の独自性、既存技術との比較等）、研究開発の状況、政府機関等からの支援、他機関との連携などについて調査を行う。
- ② 調査結果に基づき、科学的見地等から評価を行う。
- ③ 将来のスケールアップに向けた技術的課題を明らかにするとともに、実現性について評価を行う。
- ④ その他当該技術の普及にあたって考慮すべき事項（環境影響等）について明らかにする。

#### 4. 調査期間

2021年度

#### 4. 予算額

2000万円未満/件

#### 6. 報告書

提出期限：2022年3月18日

提出部数：電子媒体CD-R（PDFファイル形式、WORD形式） 1枚

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

ただし、事業実施中必要に応じて中間報告を依頼するので対応のこと。

#### 7. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。